

いばきた

デザイン プロジェクト レポート

IBA-KITA
DESIGN PROJECT
REPORT

06

2020 / 2



茨木市

お問い合わせ

茨木市 都市整備部 北部整備推進課

〒567-8505 茨木市駅前三丁目 8-13

電話：072 (620) 1609

ファックス：072 (620) 1730

メール：hokubuseibi@city.ibaraki.lg.jp



次なる
茨木へ。

北部地域の美しい山々をはじめ、豊かな自然環境の保全活動を行う森林ボランティアの拠点「茨木市里山センター」。
市民に開かれた森の学び舎として、四季を通じての各種イベント、講座・講習をはじめ、子どもたちに向けた自然体験や工作教室などを開催。休日には、バーベキュー場として利用され賑わっています。

茨木市北部地域の課題解決を目指して。

茨木市は、大阪市や京都市へアクセスしやすく、大学・高校をはじめとする教育機関、ショッピングモール、商店街、飲食店などの商業施設も充実していることから、関西圏の中でも「住みよいまち」「利便性の高いベッドタウン」として評価が高く、茨木市全体の人口推移は毎年増加傾向にあります。一方、北部山間地では、若者を中心とする人口流出と農林業従事者の高齢化により、産業や環境保全の停滞が続いています。特に問題となっているのが、山間地の「深刻な過疎化」です。茨木市の全面積の約半分が山間地にありますが、市街地の人口に対して約1%という統計もあります。

いばきたデザインプロジェクトでは、このような課題解決に向けて、地元で暮らしているの方々をはじめ、市内外のさまざまな人たちが北部地域に関心を持ち、みんなで考え、一緒に取り組んでいくことができる「仕組み」をデザインしていきます。

課題解決に向けた「仕組み」をデザインする。

プロジェクトチーム

大学、専門識者、クリエイターをはじめ、
地元地域の方々や北部地域で活動する
団体と連携を深め、協働の体制をつくる

北部地域と密接につながり
フィールドワーク、取材、編集などの活動を行う

→ 活動を通じてプロジェクトの「仲間」をつくっていく ←



課題解決に向けて
みんなで意見やアイデアを出し合える「場」をつくる

- ・ 地域課題の「見える化」を行い、みんなで共有する
- ・ 歴史、文化をはじめ、自然環境、人々の暮らしなど
地域資源や魅力を再発掘していく
- ・ 北部地域の未来図を一緒につくっていく

過程と成果を
情報発信 <> 情報共有

北部地域で暮らしているの方々

市内外で活動しているの方々

いばきたデザインプロジェクトは、平成30～令和2年度の3年間を実践期間としています。活動の過程や成果を編集し、期末ごとに「冊子」を発行します。
本年度は、「旧清溪村地区」と「里山センター」を対象にしています。



地元の方々との交流を深め、
地域資源や魅力を再編集していくことで、
「新たな価値創出」を目指していきたい。

大阪大学大学院 工学研究科の学生が
「佐保」でフィールドワークを行いました。

「いばきたデザインプロジェクト」では、茨木市北部地域における少子高齢化、農業従事者の担い手不足をはじめとする幾多の課題について、地元の方々、行政、市内外の人たちと一緒にデザインによる解決を目指します。また、地域資源や魅力を掘り起こし、再編集することによって、新たな価値創出に向けての糸口を見出していきたいと考えています。大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻都市環境デザイン学領域とのチームによる「佐保」のフィールドワークでは、自治会長の速水清さんをはじめ、地元で活動を行っているたくさんの方々に集まっていただき、地域の課題点、活性化に向けての取組みなど、さまざまな意見やアイデアをお聞きすることができました。今後も、深く情報共有を図り、交流の機会を増やしていきながら、みなさんと共にプロジェクトを推進させていきます。



里山センターを拠点とする森林ボランティア団体の活動を取材させていただきました。

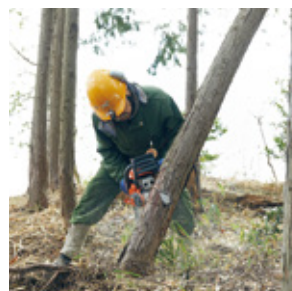
茨木ふるさとのもり 森林づくり隊

林業従事者の後継者不足によって里山が荒廃し、その重大さに気づいた市民が林業支援と里山再生を目的に平成6年設立。人工林の間伐をはじめとする「育林」が活動の中心。また、最近問題となっている「侵入竹」の除伐作業も行っている。



鉢伏山森づくりの会

鉢伏山を中心とした里山林の保全活動に取り組む。樹木の健全な育成を促すとともに、良好な里山景観の保全・整備を実施。地元住民をはじめ、市民参加型による「開かれた森づくり」を行い、里山を活かした地域づくりを目指している。



森林ボランティア団体の活動拠点
「茨木市里山センター」の課題解決と
魅力づくりに取り組んでいく。

北部地域に広がる大自然、美しい山々と里山の風景。平成19年に設立された里山センターは、茨木の貴重な資源である豊かな自然環境の整備・保全活動を行う森林ボランティア団体の拠点として機能しています。今年度の「いばきたデザインプロジェクト」では、農林業従事者の高齢化や若年層の流出による担い手不足など、幾多の課題解決に向けて、里山センターと一緒に、さまざまなアプローチを展開していきたいと考えています。



茨木バラとカシの会

「認定NPO法人シニア自然大学校」の修生で構成。自然との触れ合いをテーマにした社会貢献活動を行う。子どもたちへの出前授業、自然工作教室、自然に親しむ探検講座などを開催し、自然を通じた市民との交流や環境教育に取り組んでいる。



北辰窯炭焼き倶楽部

里山センターの数地内に設置された炭焼き窯を使って炭づくりを行う。昔ながらの里山の暮らしを継承し、間伐作業から炭焼き、利活用の提案、販売といった「自然との共生」「自然の循環」を目指して活動を展開している。

